

他専門委員会等から社会基盤専門委員会への意見と政策項目との関係表

○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備		中・小項目
厚生 ⇒	・高速交通網の整備促進、早期実現により、流通の活性化を図る。	(2) ア・イ

○人づくりによる人材の確保		中・小項目
市民WS⇒	・つるおかLOVE♥を増やすため、地域の歴史・文化・産業を知る機会を増やすゾ!	(1) ウ 学びと交流 商工と観光
市民WS⇒	・“自分”のまちをつくるため、自分事としてとらえられる人を増やしていくゾ♪	(1) イ・ウ

○交流人口を増やす施策の実施		中・小項目
市民文教⇒	・中古住宅の賃貸化、産業の振興、航空運賃を安くするなど住みやすく、鶴岡市内に留まってくれるようなまちをつくる。	(1) ア・イ (2) イ (3) ア
市民文教⇒	・交通網の整備を進め、独自の産業を振興し、交流人口を増加させる。	(1) ア・イ (2) ア・イ・エ・オ・カ
市民文教⇒	・国際化に伴う交流人口の増加に対応するため、高速交通網・ネットワークの整備を進める。	(2) ア・イ
市民文教⇒	・魅力的な観光資源を生かしつつ、新たなアクティビティや大自然を生かしたレジャーを創設する。	商工と観光
厚生 ⇒	・郊外地の森林・農業などを積極的に提供する。	農林水産業
厚生 ⇒	・適正な居住人口を検討し、めりはりのある予算投入を図る。	(1) ア
厚生 ⇒	・空き家の利活用検討により、他の地域から来てもらえるようなまちをつくる。	(3) ア
厚生 ⇒	・交通の便が悪いことを逆手に取る取組を行い、交流人口を増やす。	(1) ア・イ
産業 ⇒	・新潟とつながる高速道路のインターに海の物を扱う商業施設が出来れば、県漁協は力になりたいと考えている。他市町よりも先にしっかりしたものを考えて作れば、鶴岡の集客が増える。	(2) イ 地域の振興
市民WS⇒	・車以外の交通網を整備して日本中の都市と行き来しやすくする。	(2) イ

○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築		中・小項目
市民文教⇒	・交通弱者を支援するため、低額で集落内に迎えにいける小回りができる小型バスを運行する。	(2) カ
市民文教⇒	・芸術家・作家・研究者を目指す若者に無償又は格安で空き家を提供し、U I Jターンの促進と定住者の拡大につなげる。	(3) ア 暮らしと防災
市民文教⇒	・老人が子どもに宿題を教えたり、料理を教えたりする場所として、公民館や空き家を活用する。	(3) ア
市民文教⇒	・子どもの遊び場が少ないため、新しい遊び場を整備する。	福祉と医療
市民WS⇒	・住み慣れた家を、地域の力でよりよい環境に変えられるよう、助成事業の継続、強化を目指す。	(3) ア
市民WS⇒	・スポーツ施設や公園を増やすことによって住民の健康を促進する。	(1) オ 学びと交流
市民WS⇒	・バス、タクシー、JRなど公共交通手段を充実させて子どもや高齢者、障害者がまちに出やすくする。	(2) イ・カ 福祉と医療
市民WS⇒	・若者が楽しめる、学業や仕事のおわりにくつろげる居場所づくりをする。空き家を活用したカフェ、ゲストハウス等	(1) イ (2) ア
市民WS⇒	・危険のない安心できる暮らしにしていこう。	(3) イ・カ (4) ア・イ・ウ 暮らしと防災

○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化の伝承		中・小項目
市民WS⇒	・自然と歴史と文化の良さに気付き、伝承していくために体験できる場を増やす	(1) ウ 学びと交流

○「循環」をキーワードとして重視		中・小項目
厚生 ⇒	・高低差の環境を活かす施策。小水力発電の設置等、農業、花き等の生産の推進を図る。	暮らしと防災 農林水産業
厚生 ⇒	・廃校になった小・中学校や施設の活用を図り、社会的弱者のための地域拠点として活用する。	(3) ウ 福祉と医療

○対応から本格的国際都市へのシフト		中・小項目
市民WS⇒	・外国からの観光客が来やすいように交通アクセスを増やす。	(2) ア・イ 商工と観光

○コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会の実現		中・小項目
市民文教⇒	・コンパクトなまちづくりについて、郊外地の課税や中心部の再開発事業を優遇するなど市街地縮小時代に向けた対策を講じる。	(1) ア・イ
市民WS⇒	・鶴岡のそれぞれの課題に誰がホントに困っているのか現状を知る機会として「ミーティング」「研修」「コワーキングスペース」等を増やしていく。	(1) イ 商工と観光
市民WS⇒	・空き家、空き店舗の利用拡大のために活用しやすい仕組みづくり。	(3) ア 商工と観光
市民WS⇒	・技術の進歩をまちづくりに取り入れ、鶴岡の強み(広域、山、里、川、街、海)を有効活用する。例えば電動自動車シェアリングを推進することで距離のハンデを克服する。	(1) ア 商工と観光

○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施		中・小項目
市民文教⇒	・交通網を整備する。	(1) ア (2) ア・イ・ エ・オ・カ

○その他(地域振興懇談会からの意見等)		中・小項目
地域 ⇒	・公共交通空白地域となっている長沼・八栄島地区の交通弱者対策として、地域公共交通の導入について検討してほしい。	(2) カ 地域の振興
地域 ⇒	・免許返納に伴う、バス及びタクシー補助制度の恩恵が得られない地域の支援について検討が必要。(もともとバス路線がない所、バス路線があっても使い勝手が悪い所)	(2) カ 暮らしと防災
地域 ⇒	・歴史公園でヨガのイベントを行いたい、借りやすいシステムを作っていただきたい。 →公園活用ワークショップを実施し多様な活用策を検討中	(1) オ
地域 ⇒	・にこにこバスの毎日運行を希望する	(2) カ
地域 ⇒	・観光客が松ヶ岡に行く手段がないという問題を解決すべきではないか。	(2) カ 商工と観光
地域 ⇒	・高齢者の免許返納でバス乗車券などがもらえますが、バス停までの交通機関がありません。是非、二次交通のことも検討していただきたいと思います。	(2) カ 暮らしと防災
地域 ⇒	・赤川はアユ釣りのメッカ。それを有効利用した施策を考えられないか	(1) オ 商工と観光

地域 ⇒	・ 高校生の場合は子育て支援として高校生の通学・部活動への参加のため、バスの土日運行や増便などを要望する	(2) カ 学びと交流
地域 ⇒	・ 高齢者の場合、高齢者の行動範囲が狭まるとどうしても引きこもりがちになってしまう。社会保障などいろいろな面で行政負担も増えることを考えると、できるだけ高齢者の移動範囲を広げ自立して行動してもらうことが大事だと思うので、ぜひ今のバスの更なる拡充をお願いしたい。	(2) カ 福祉と医療
地域 ⇒	・ 若年者・高齢者共に住みやすいような地域環境整備は必要では。宅地造成や企業誘致など市全体でも取り組んでいると思うが、朝日でも考えてもらいたい	(1) ア・イ 商工と観光 地域の振興
地域 ⇒	・ 高齢者の移動手段に関しては、小型・中型のバスを活用し乗継に配慮した地域交通や、各地域の実情に合わせた移動手段の確保をお願いしたい。	(2) カ
地域 ⇒	・ 恋する灯台に認定された鼠ヶ関灯台を活用した企画やPR等もやっていきたい。	(2) キ 地域の振興
地域 ⇒	・ 若い人たちが定住できる場所や環境づくりを進める必要がある。	(3) ア 暮らしと防災
地域 ⇒	・ 高齢者も楽しめるように、温泉街の空き地を活用したばら園の拡大はどうか。そういったふうにきれいな環境で過ごせることが女性にとってはありがたい。	地域の振興